

【別紙 3】

地域生物多様性増進活動の手引き

記載例

様式 1－2 の記載例は手引き本体の 7～12 ページを、
様式 2－2 の記載例は手引き本体の 37 ページを、
別紙 2（計画概要）の記載例は手引き本体の 30 ページを
それぞれご参照ください。



別紙 3 記載例

増進活動実施計画（様式 1－2）別紙 1 サイト詳細シート

サイト詳細シート ①基本的事項

※記載例（青字）はあくまで一例です。

1. サイトの概要			
計画の名称	自然共生の里保全活動実施計画		どちらかを選択 ☒ 増進活動実施計画 ☐ 連携増進活動実施計画
計画期間	令和7年4月～令和12年3月		
サイト名（実施区域）	自然共生の里		
2. 申請者（複数名の申請者が存在する場合は、代表者のみ記入。その他の申請者は「申請者（複数）記入シート」へ記入。）			
複数名/単独の別		☒ 複数名での申請である（全部で 名/団体）	※別シートへ記入（クリック）
申請者の情報 （申請者が団体の場合） ●複数の団体による申請の場合は、代表者のみを記入。代表者以外は「※別シートへ」をクリックいただき別途記入。	申請者(団体)の名称	フリガナ シゼンキョウセイシ 自然共生市	
	申請者(団体)の代表者氏名	フリガナ シゼン キョウセイ 自然 共生	
	郵便番号・住所	〒 ××××××× ※郵便番号（ハイフン無し）を記入してください。 〇〇県自然共生市〇〇 ××-××	
	WebサイトURL	https://www.〇〇.jp	
	担当者の所属部署	〇〇部〇〇課	
	担当者の氏名（フリガナ）	環境 共生（カンキョウ キョウセイ）	
	連絡先（Tel, Mail）	Tel: ××-××××-×××× Mail: 〇〇@sample.jp	
申請者の情報 （申請者が個人の場合） ●複数人での申請の場合は、代表者のみを記入。代表者以外は「※別シートへ」をクリックいただき別途記入。	申請者氏名	フリガナ 	
	郵便番号・住所	〒 ※郵便番号（ハイフン無し）を記入してください。 	
	担当者の氏名（フリガナ）		
	連絡先（Tel, Mail）	Tel: Mail:	
3. 連携活動実施者（連携増進活動実施計画の場合のみ。代表者のみ記入し、詳細は「連携活動実施者記入シート」へ記入。）			
複数名/単独の別		☒ 複数団体での申請である（全部で 3 団体）	※別シートへ記入（クリック）
連携活動実施者の情報 ●複数の団体による申請の場合は、代表者のみを記入。代表者以外は「※別シートへ」をクリックいただき別途記入。	連携活動実施者の名称	フリガナ NPOホウジン〇〇 NPO法人〇〇	
	連携活動実施者の代表者氏名	フリガナ 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	
	郵便番号・住所	〒 ××××××× ※郵便番号（ハイフン無し）を記入してください。 〇〇県自然共生市△△ ×-×	
	WebサイトURL	https://www.〇〇.jp	
	担当者の所属部署	〇〇課	
	担当者の氏名（フリガナ）	〇〇 〇〇 （〇〇 〇〇）	
	連絡先（Tel, Mail）	Tel: ××-××××-×××× Mail: 〇〇@sample.jp	
4. 土地の所有者等（代表者のみ記入。詳細は「土地の所有者等記入シート」へ記入。）			
複数名/単独の別		☒ 複数名の土地の所有者等が存在（全部で 2 名/団体）	※別シートへ（クリック）
土地所有者等の情報 ●代表者のみを記入。代表者以外は「※別シートへ」をクリックいただき別途記入。	氏名/団体名	フリガナ 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	
	郵便番号・住所	〒 ××××××× 〇〇県自然共生市△△ ×-×	
	連絡先（Tel, Mail）	Tel: ××-××××-×××× Mail: 〇〇@sample.jp	

サイト詳細シート ①基本的事項

※記載例（青字）はあくまで一例です。

5. 確認事項

番号	チェック項目	チェック及び必要事項の記入
1	申請者と土地の所有者等が異なる場合、土地の所有者等が計画の申請に同意しているか。	☐ 申請者と土地の所有者等が同一である ☒ 申請者と土地の所有者等が異なる 土地の所有者等が計画の申請に同意しているか ☒ はい ☐ いいえ 「はい」の場合、「土地の所有者等記入シート」を記入すること。
2	活動の衡平性に疑念を感じさせる訴訟等の紛争は存在するか。 （例えば、土地の権利関係や保護と開発の対立など）	☒ 存在しない ☐ 存在する
3	計画に係る実施区域・区域における活動に関連する法令条例を順守しているか。	☒ はい ☐ いいえ 【関連法令（把握済の地域指定等を伴う規制法）がある場合は以下に記入】 ()
4	計画に係る実施区域と公物等の管理区域との重複が存在するか。 公物等の管理者に申請に関する同意等を得ているか。 公物等の管理区域の対象は以下のとおり。 ・河川区域 ・砂防関係区域 ・治山事業施行地 ・海岸関係区域（海岸保全区域、一般公共海岸区域） ・港湾関係区域 ・漁港区域 ・漁業権区域（定置漁業権、区画漁業権、共同漁業権区域） ・保護水面 ・都市公園区域 ・道路区域 ※港湾関係区域とは、港湾区域、港湾隣接地域、臨港地区、港湾法第2条第6項の規定により国土交通大臣の認定した港湾施設の区域及び開発保全航路の区域	公物等の管理区域との重複が存在するか ☐ 存在しない：①に回答 ☒ 存在する：②と③に回答 ①公物等の管理者に重複の有無を確認したか ☐ はい ☐ いいえ（重複の可能性なし） 「はい」の場合、公物等の管理区域の種類、確認内容（確認した時期、管理者、内容など） ※複数の公物等の管理区域と重複の場合は、区域ごとに記載すること ②公物等の管理区域のうち重複するものについて、管理者に確認の上、申請に関する同意等を得ているか ☒ はい ☐ いいえ 「はい」の場合、「公物等記入シート」を記入し、必要書類を添付すること。 ③公物等の管理区域のうち重複しないものについて、管理者に重複の有無を確認したか ☐ はい ☒ いいえ（重複の可能性なし） 「はい」の場合、公物等の管理区域の種類、管理者、確認した日付、確認の方法を記載すること。 ※複数の区域について確認した場合は、区域ごとに記載すること

別紙3 記載例

増進活動実施計画（様式1－2）別紙1 サイト詳細シート

サイト詳細シート ① 基本的事項

※記載例（青字）はあくまで一例です。

5. 確認事項 ※前頁掲載表の続き

計画に係る実施区域内において、現行・将来の整備計画等はないか。	☒ ない ☐ ある
申請者及び土地の所有者等が複数の者から構成される場合、関係者の意思疎通が図られる定期的な機会が設定されているか。 ☐ 該当しない（申請者及び土地の所有者等は同一である、または申請者（活動主体）及び土地の所有者等が異なるがいずれも単独の主体である） （右の質問の回答不要）	☒ はい ☐ いいえ 「はい」の場合、その内容 土地所有者の〇〇××、〇〇△△とは、年に1回打合せを行い、情報共有・意見交換を行っている。
申請者が法人・団体の場合、法人や団体が解散する予定がなく活動の責任者としての立場の期間が継続するか。 ☒ 該当しない（活動責任者は個人である） （右の質問の回答不要）	☐ はい ☐ いいえ

「認定後」の手続きに関する質問

認定後、5年毎に、サイトの状況が分かる資料（モニタリング結果等）を提出いただく予定です。	5年毎に、サイトの状況が分かる資料の提出に、 ☒ 同意します。 ☐ 同意しません
【環境省のHP】 認定を受けた自然共生サイトを環境省のWEBページ等で公開する予定です。	自然共生サイトを30by30WEBページ等で公開することに、 ☒ 問題ありません ☐ 一部公開を差し控えたい情報がある
維持する活動として認定された場合、実施区域について、保護地域との重複を除いた区域をOECD国際データベースに登録させていただきます。	OECD国際データベースへの登録に、 ☒ 同意します。 ☐ 同意しません <u>「同意します」の場合、別紙1③OECDにもご記入ください。</u>

申請者の30by30アライアンスへの参加状況 ●申請者が複数である場合は代表者（1.に記載された申請者）についてご記入ください。代表者以外の申請者に参加のご意向がある場合には別途事務局にご連絡ください。	☒ 参加済 ☐ 未参加 ☐ 認定後、参加予定 （※このチェックをもって、認定後に自動的に30by30アライアンスへ参加とします。別途参加申し込みは不要です）
---	---

※別紙1 申請者記入シート、連携活動実施者 記入シートについては、掲載省略

別紙 3 記載例

増進活動実施計画（様式 1－2）別紙 1 サイト詳細シート

サイト詳細シート ①基本的事項
土地所有者等 記入シート

※記載例（青字）はあくまで一例です。

（確認事項） 実施区域に国有林が含まれますか。 ☒ はい ☐ いいえ

国有林を含む場合には、森林管理局・森林管理署等の同意書の添付を必須としています。以下も記入ください。

国有林の所在地	〇〇県〇〇市	当該国有林の管理者	〇〇森林管理署	同意書の日付	令和〇年〇月〇日
---------	--------	-----------	---------	--------	----------

1	土地の所有者等の情報	氏名/団体名	フリガナ 〇〇 〇〇 〇〇 ××	同意を得た日 令和〇年〇月〇日
		郵便番号・住所	〒 ××××××× 〇〇県〇〇市〇〇	同意の方法 同意書 ※添付書類No. ●
		連絡先 (Tel, Mail)	Tel: ××-××××-×××× Mail: 〇〇@sample.jp	

2	土地の所有者等の情報	氏名/団体名	フリガナ 〇〇 〇〇 〇〇 △△	同意を得た日 令和〇年〇月〇日
		郵便番号・住所	〒 ××××××× 〇〇県〇〇市〇〇	同意の方法 会議議事録 ※添付書類No. ●
		連絡先 (Tel, Mail)	Tel: ××-××××-×××× Mail: 〇〇@sample.jp	

公物等の管理区域 記入シート

増進活動実施区域との重複が有る公物等の管理区域

1	漁港区域	名称・種別 所在	第 3 種 〇〇 漁港 〇〇県〇〇市	確認又は同意の日 令和 7 年 4 月 1 日
		管理者 担当	〇〇県 〇〇県漁港漁場整備課	確認又は同意の方法 書面 ※添付書類No. ●
		連絡先 (Tel, Mail)	Tel: ××-××××-×××× Mail: 〇〇@sample.jp	

2	海岸関係区域	名称・種別 所在	海岸保全区域 〇〇市〇〇	確認又は同意の日 令和 7 年 4 月 1 日
		管理者 担当	〇〇県〇〇建設事務所 〇課	確認又は同意の方法 メール ※添付書類No. ●
		連絡先 (Tel, Mail)	Tel: ××-××××-×××× Mail: 〇〇@sample.jp	

3	漁業権区域	名称・種別 所在	第一種共同漁業権 〇〇市〇〇及び〇〇浜地先	確認又は同意の日 令和 7 年 4 月 1 日
		管理者 担当	〇〇県水産課	確認又は同意の方法 書面 ※添付書類No. ●
		連絡先 (Tel, Mail)	Tel: ××-××××-×××× Mail: 〇〇@sample.jp	

別紙 3 記載例

増進活動実施計画（様式 1－2）別紙 1 サイト詳細シート

サイト詳細シート

②サイトの状況等

1. サイトの基礎情報（必須）

サイト名称	日本語名	自然共生の里				
	英語名	Village of harmony with nature				
サイト住所	〇〇県自然共生市△△ x-xx					
サイト面積	5.4	ha	(うち、海域部分)	保護地域との重複がある場合 (把握している場合記入)	重複部分の面積	
			0 ha		0 ha	
面積の換算方法：		☒	GISによる面積計算	☐	その他（	
申請者名	自然共生市					
連携活動実施者	NPO法人〇〇、株式会社〇〇、財団法人〇〇					
土地の所有者等	〇〇xx、〇〇△△					
活動類型	☒ 維持タイプ	☐ 回復タイプ	☐ 創出タイプ	生態系タイプ	里山林、二次草原・草地、水田	
該当する生物多様性の価値	☐ ① 公的機関によって、生物多様性保全上の重要性が既に認められている場としての価値					
	☒ ② 原生的な自然生態系が存する場としての価値					
	☐ ③ 里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場としての価値					
	☒ ④ 生態系サービス提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場としての価値					
	☒ ⑤ 伝統工芸や伝統行事といった地域の伝統文化のために活用されている自然資源の供給の場としての価値					
	☒ ⑥ 希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場としての価値					
	☐ ⑦ 分布が限定されている、特異な環境へ依存するなど、その生態に特殊性がある種が生息生育している場又は生息生育の可能性が高い場としての価値					
	☐ ⑧ 越冬、休息、繁殖、採餌、移動（渡り）など、動物の生活史にとって重要な場としての価値					
	☐ ⑨ 既存の保護地域又は自然共生サイト認定区域に隣接する若しくはそれらを接続するなど、緩衝機能や連続性・連結性を高める機能を有する場としての価値					

1. サイトの基礎情報（区域図）（必須）

注：写真は不鮮明に加工してあります



国土地理院「地理院地図（電子国土Web）」を加工

別紙3 記載例

増進活動実施計画（様式1－2）別紙1 サイト詳細シート

サイト詳細シート

②サイトの状況等

1. サイトの基礎情報（全体写真）（必須）

注：写真は不鮮明に加工してあります



- 写真番号：1 撮影日又は撮影年月：20XX年X月

2. サイトの生物多様性の現況

価値（1）公的機関によって、生物多様性保全上の重要性が既に認められている場

【選定されている制度名】

環境省 重要里地里山 No.〇〇ー〇 名称：自然共生市の里地里山

【選定理由や内容】

選定理由（添付資料Xより引用）

自然共生市の北部において、長期間にわたり維持管理が行われてきた里地里山である。クヌギ・コナラ二次林や水田（棚田）のほか一部梅林やソバ畑などから構成され、現在もモザイク状の土地利用が維持されている。

この地域の里地里山に特徴的な〇〇サンショウウオや〇〇ヤンマといった希少種を含む多様な動植物も確認されている。

<添付資料>

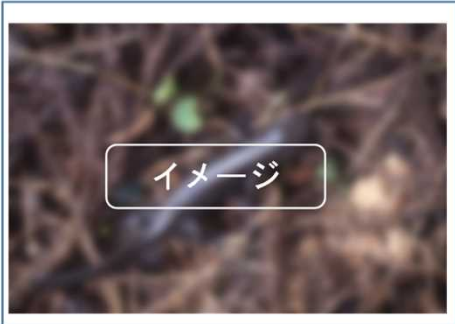
申請区域が選定等を受けていることが分かる資料（Webサイトの写し等）を添付

※対応箇所や該当ページも記入ください

添付資料X:環境省HP「生物多様性保全上重要な里地里山No.〇〇-O」
https://www.env.go.jp/nature/satoyama/senteichi_ichiran.html



写真番号：2 写真の撮影年月：20xx年X月
写真の説明：申請区域内の水田（棚田）



写真番号：3 写真の撮影年月：20xx年X月
写真の説明：〇〇サンショウウオ

サイト詳細シート ②サイトの状況等

2.サイトの生物多様性の現況

価値（2）原生的な自然生態系が存する場

【場の概況】原生的な自然生態系が存する場についての概況を記入。 本サイトの区域南西部の山稜付近には、スダジイなどからなる常緑広葉樹林の自然林が小面積であるが残されている。〇〇、〇〇などの動植物が確認されている。	
【主な植生】	http://gis.biodic.go.jp/webgis/ にて環境省の現存植生図は確認可能 申請区域内の自然林における植生はヤブコウジースダジイ群集、シラカシ群集、△△群集である。なお、区域全体ではクヌギーコナラ群集、ヤブツバキ群落、〇〇群落が優占している。
【植生自然度】	植生自然度：http://gis.biodic.go.jp/webgis/files/vegetation_naturalness25000.pdf 植生自然度9
【確認された主な動植物など】	申請区域全体では植物X種、動物X種が確認されている。そのうち自然林の区域で確認されたのは植物X種、鳥類X種、哺乳類X種、爬虫類X種、昆虫類X種であり（添付資料X）、主な種は以下のとおりである。 植物：シュンラン（ <i>Cymbidium goeringii</i> ）、コオニユリ（ <i>Lilium leichtlinii</i> ）、△△（学名xxxxx xxxxx） 鳥類：クロツグミ（ <i>Turdus cardis</i> 、成体）、イカル（ <i>Eophona personata</i> 、成体）、××（学名xxxxx xxxxx） 昆虫類：エゾミドリシジミ（ <i>Favonius jezoensis</i> 、成体）、シロスジカミキリ（ <i>Batocera lineolata</i> 、成体）、〇〇（学名xxxxx xxxxx）
＜添付資料＞	現存植生図、原生状態の維持が分かる資料、動植物種のリストなどを添付
※対応箇所や該当ページも記入ください	添付資料X:〇〇生物調査報告書（p.X自然林の区域において確認された動植物種の一覧）



写真番号：4 写真の撮影年月：20XX年X月
写真の説明：申請区域南西部の自然林の林内



写真番号：5 写真の撮影年月：20XX年X月
写真の説明：林床に自生する〇〇ラン

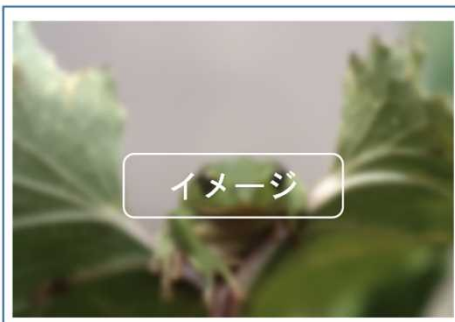
2.サイトの生物多様性の現況

価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

【場の概況】二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場についての概況を記入。 本サイトでは、区域中央に水田（棚田）がみられ、その他大半の区域がクヌギーコナラ二次林であり、その一部に梅林やソバ畑が見られるなど、現在もモザイク状の土地利用が残されている。〇〇、〇〇などの動植物が確認されている。	
【主な植生】	申請区域内の自然林における植生はヤブコウジースダジイ群集、シラカシ群集、△△群集である。なお、区域全体ではクヌギーコナラ群集、ヤブツバキ群落、〇〇群落が優占している。
【確認された主な動植物など】	申請区域全体では植物X種、動物X種が確認されている。そのうち自然林の区域で確認されたのは植物X種、鳥類X種、哺乳類X種、爬虫類X種、昆虫類X種であり（添付資料X）、主な種は以下のとおりである。 植物：ナゴラン（ <i>Sedirea japonica</i> ）、コオニユリ（ <i>Lilium leichtlinii</i> ）、△△（学名xxxxx xxxxx） 鳥類：クロツグミ（ <i>Turdus cardis</i> 、成体）、イカル（ <i>Eophona personata</i> 、成体）、××（学名xxxxx xxxxx） 昆虫類：エゾミドリシジミ（ <i>Favonius jezoensis</i> 、成体）、シロスジカミキリ（ <i>Batocera lineolata</i> 、成体）、〇〇（学名xxxxx xxxxx）
＜添付資料＞	動植物種のリスト、二次的な自然環境の維持に寄与する活動を説明した資料などを添付
※対応箇所や該当ページも記入ください	添付資料X:〇〇生物調査報告書（p.X水田・二次林で確認された動植物種の一覧）



写真番号：6 写真の撮影年月：20XX年X月
写真の説明：水田（棚田）の様子



写真番号：7 写真の撮影年月：20XX年X月
写真の説明：水田（棚田）周辺で確認された〇〇

サイト詳細シート ②サイトの状況等

2. サイトの生物多様性の現況

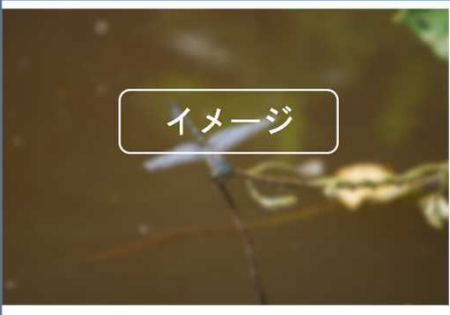
価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場	
【場の概況】生態系サービスの提供の場についての概況を記入。 本サイトの区域中央部の水田（棚田）は、コメの生産のほか、エコツアーや社会科見学等において田植え体験を提供している。棚田とその周辺の二次林は自然観察会で利用されている。棚田下部のソバ畑や梅林では二ホンミツバチを利用した養蜂も行われている。	
【主な植生】 区域内における主な植生は、ヤブコウジースダジイ群集、クヌギーコナラ群集、ダブノキーヤブニッケイ二次林である。	
【確認された主な動植物など】 申請区域全体では植物X種、動物X種が確認されている（添付資料X）。主な種は以下のとおりである。 植物：コオニユリ（<i>Lilium leichtlinii</i>）、ヤマツツジ（<i>Rhododendron kaempferi</i>）、××（学名xxxxx xxxxx） 哺乳類：ホンダヌキ（<i>Nyctereutes viverrinus viverrinus</i>、成体）、ホンドキツネ（<i>Vulpes vulpes japonica</i>、成体）、〇〇（学名xxxxx xxxxx） 鳥類：クロツグミ（<i>Turdus cardis</i>）、イカル（<i>Eophona personata</i>、成体）、コムクドリ（<i>Agropsar philippensis</i>、成体）××（学名xxxxx xxxxx） 爬虫類：ニホンカナヘビ（<i>Takydromus tachydromoides</i>、成体）、ジムグリ（<i>Euprepophis conspicillata</i>、成体）、△△（学名xxxxx xxxxx） 両生類：タゴガエル（<i>Rana tagoi</i>、成体）、〇〇サンショウウオ（学名xxxxx xxxxx）××（学名xxxxx xxxxx） 昆虫類：エゾミドリシジミ（<i>Favonius jezoensis</i>、成体）、アオハナムグリ（<i>Cetonia roelofsi</i>、成体）、××（学名xxxxx xxxxx）	
<添付資料> 動植物種のリスト、・提供する生態系サービスの内容が分かる資料などを添付 ※対応箇所や該当ページも記入ください 添付資料X:本サイトのコメ・ハチミツ生産量（XX年～XX年） 添付資料X:田植え体験・自然観察会の開催記録（XX年度） 添付資料X:〇〇生物調査報告書（p.X申請区域内で確認された動植物種の一覧）	写真番号：8 写真の撮影年月：20XX年X月 写真の説明：棚田における田植えの様子 写真番号：9 写真の撮影年月：20XX年X月 写真の説明：二ホンズメバチ

2. サイトの生物多様性の現況

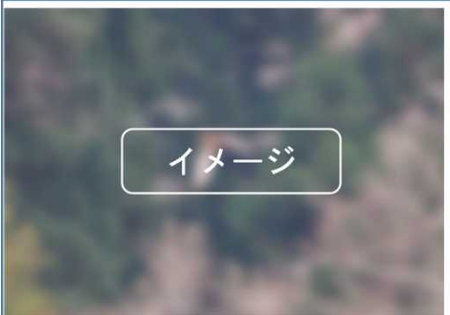
価値（5）伝統工芸や伝統行事といった地域の伝統文化のために活用されている自然資源の供給の場	
【場の概況】伝統文化のために活用されている自然資源の供給の場の概況を記入 本サイトの大半の区域はクヌギーコナラの二次林である。薪炭林としての利用は1960年代頃に減退しているが、一部、棚田周辺の二次林では祭事（焚火祭り）で用いるための薪採取が現在まで毎年続いている。	
【伝統文化等の名称】 〇〇神社「焚火祭り」 地元〇〇市内の〇〇神社で明治時代から行われている五穀豊穡を願う祭りで、〇〇市内で採取された薪を利用して境内の十数か所で焚火が行われる。2007年には100年祭が行われ、〇〇市無形文化財に指定されている（20XX年）。〇〇神社の信仰は明治時代以前から続いていたが、焚火祭りが行われるようになったのは1907年からとされている。	写真番号：10 写真の撮影年月：20XX年X月 写真の説明：焚火祭りの様子
【活用している自然資源】 本サイトでは、焚火祭りの薪材として使用するために棚田周辺の二次林から、樹齢X年～X年程度のコナラを伐採し、毎年X月にXkg程度の薪を奉納している。本サイトからの薪材の奉納は1980年代に始まっており、20XX年を除き毎年継続して供給している。	
<添付資料> 自然資源が伝統文化に活用されていることが分かる資料などを添付 ※対応箇所や該当ページも記入ください 添付資料X:〇〇市史第X巻第X章（p.X～p.X「〇〇神社焚火祭り」） 添付資料X:奉納書（令和X年X月X日）	写真番号：11 写真の撮影年月：20XX年X月 写真の説明：焚火祭りの薪として伐採されたコナラ

サイト詳細シート ②サイトの状況等

2. サイトの生物多様性の現況

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場	
【場の概況】希少な動植物種が生息生育している場の概況について記入。 本サイトでは、水田（棚田）、クヌギ・コナラ二次林などで構成されたモザイク状の土地利用が残され、典型的な里地里山の環境が見られる。こうした里地里山の環境に特徴的な〇〇、〇〇などの希少な動植物種が確認されている。	
【確認された希少種】 本サイト内では、主に棚田とその周辺の二次林の区域で、環境省レッドリストまたは〇〇県レッドリストに掲載された希少種として植物X種、鳥類X種、爬虫類X種、両生類X種、昆虫類X種が確認されている（添付資料X）。主な種は以下のとおりである。 ・〇〇サンショウウオ（学名：XXXX XXXX、環境省レッドリストEN、〇〇県レッドリストEN） 毎年、〇〇サンショウウオの卵塊が2月ごろに確認され、成体も確認されている。初めて生物調査が行われたのが19XX年であり、以降19XX年と20XX年を除き毎年確認されている。（添付書類X参照） ・〇〇ヤンマ（学名：XXXX XXXX、〇〇県レッドリストVU） 棚田付近で成体が確認されている。〇〇サンショウウオと同じく19XX年から生物調査により確認されており、以降20XX年を除き毎年確認されている。（添付書類X参照）	
<添付資料> ※対応箇所や該当ページも記入ください	動植物種のリスト（和名、学名、レッドリストのカテゴリ、ライフステージ（成虫、幼虫など）、調査手法（目視、ラインセンサス、自動撮影カメラなど）、調査/確認地点などの情報がわかる資料を添付 添付資料X:申請区域内で確認された希少種の一覧 添付資料X:〇〇サンショウウオの確認記録（20XX年～20XX年）

2. サイトの生物多様性の現況

価値（7）分布が限定されている、特異な環境へ依存するなど、その生態に特殊性のある種が生息生育している場又は生息生育の可能性が高い場	
【場の概況】生態に特殊性のある種が生息生育している場の概況について記入。 本サイト内にある〇〇周辺地帯には蛇紋岩が露出している箇所が見られる。蛇紋岩はケイ素とマグネシウムを含む超塩基性の性質により、植物の生育が難しいという特徴があるが、一部〇〇、〇〇などの蛇紋岩地に適応した植物が生息している。	
【確認された分布限定種、特異な環境へ依存する種】 蛇紋岩残存植物や蛇紋岩変形植物など、蛇紋岩地に適応した植物が生息している。主な種は以下のとおりである。 ・〇〇ソウ（学名：XXXX XXXX） 毎年、2月ごろに〇〇が確認され、6月ごろに開花も確認されている。初めて生育が確認されたのが19XX年であり、以降19XX年と20XX年を除き毎年確認されている。（添付書類X参照） ・〇〇ハコベ（学名：XXXX XXXX） 〇〇付近で生育が確認されている。〇〇ソウと同じく19XX年から生息状況調査により確認されており、以降20XX年を除き毎年確認されている。（添付書類X参照）	
<添付資料> ※対応箇所や該当ページも記入ください	分布限定種、特異な環境へ依存する種の情報（種名、確認地点、繁殖の有無等）資料を添付 添付資料X:申請区域内で確認された植物種の一覧 添付資料X:〇〇ソウ、〇〇ハコベの確認記録（20XX年～20XX年）

別紙3 記載例

増進活動実施計画（様式1－2）別紙1 サイト詳細シート

サイト詳細シート

②サイトの状況等

2. サイトの生物多様性の現況

価値（8）越冬、休息、繁殖、採餌、移動（渡り）など、動物の生活史にとって重要な場	
【場の概況】 申請サイト中央部の水田（棚田）とその縁辺の二次林は、サシバが繁殖・採餌する場となっている。水田（棚田）では、環境保全型農業（無農薬、冬期湛水）を実施している。	
【対象となる動物種とその動物種の生活史の内容】 対象となる動物種：サシバ（学名：XXXXXX）。毎年X月～X月に本サイトに飛来しており、直近では本年X月X日に2個体（成体）を確認している（添付資料X）。 生活史の内容：申請サイトにおけるサシバの生活史は、繁殖と採餌である。 ① 繁殖：20XX年以降の毎年、水田（棚田）縁辺の二次林にある中・大径のマツ等に1つがいがか営巣・抱卵・給餌し、20XX年を除き巣立ちの成功を確認している。20XX年の調査で確認された毎年の営巣木の位置（20XX年～20XX年）、営巣時の写真は添付資料Xのとおりである。 ② 採餌：主に水田（棚田）において主にカエル類（〇〇ガエル等）、ヘビ類（〇〇ヘビ等）、バッタ類などの捕食が確認されている。20XX年の調査において、サシバによる捕食が確認された動物は添付資料Xのとおりである。 サシバの繁殖・採餌は申請サイトの水田（棚田）と二次林に依存しているが、周辺地域で耕作放棄等が進んでいるため申請サイトは貴重な環境と考えられる（添付資料X）。	
<添付資料> ※対応箇所や該当ページも記入ください	対象となる動物種とその動植物の生活史に関する情報、資料、既存研究等を添付 添付資料X:20XX年度サシバ生息調査報告書（営巣等確認の記録p.〇～p.〇、採餌p.〇、周辺地域の生息環境p.〇）
写真番号：16 写真の撮影年月：20XX年X月 写真の説明：申請区域内を飛翔するサシバ 写真番号：17 写真の撮影年月：20XX年X月 写真の説明：サシバが捕食する〇〇ガエル	

2. サイトの生物多様性の現況

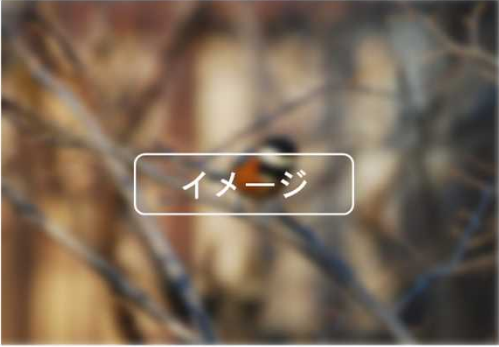
価値（9）既存の保護地域又は自然共生サイト認定区域に隣接する若しくはそれらを接続するなど、緩衝機能や連続性・連結性を高める機能を有する場	
【場の概況】 申請サイトの西側に隣接して〇〇国立公園（特別地域、普通地域）が指定されている。申請区域が〇〇国立公園特別地域と隣接している部分のスタジイ等の自然林である。	
【主な植生】 国立公園特別地域との隣接部分の植生は主に〇〇群集、〇〇群集、〇〇群集であり、ウラジロガシやスタジイの自然林である。その周辺の申請区域内の植生は〇〇群集などであり、クヌギ・コナラの二次林である。	
【隣接・接続する保護地域等】 〇〇国立公園（第1種特別地域、普通地域）	
【緩衝機能や連続性・連結性の機能】 申請サイトは、区域西部で〇〇国立公園に隣接している(右図)。〇〇国立公園は常緑広葉樹自然林の景観等を保護しており、申請サイトの自然林・二次林は、国立公園から約Xkm程度の緩衝幅で（添付資料X）、〇〇市中心部方面からの人間活動に対する緩衝機能を有している。 また、申請サイトの区域南西部には小面積のスタジイ等の自然林が残存している。〇〇国立公園第1種特別地域と同じ植生が連続して分布しており（添付資料X）、申請サイトは常緑広葉樹の自然林の連続性を高める機能を有している。	
<添付資料> ※対応箇所や該当ページも記入ください	隣接する保護地域を含む植生図、連続性・連結性を高める機能を有することがわかる資料等を添付 添付資料X:申請区域と〇〇国立公園の位置関係図 添付資料X:申請区域及び〇〇国立公園を含む植生図
図の説明：申請区域と〇〇国立公園との位置関係図 出典：環境省資料より作成 写真番号：16 写真の撮影年月：20XX年X月 写真の説明：申請区域南西部の自然林の林内	

サイト詳細シート ②サイトの状況等

3. 関連情報（生態系サービス）（任意（※ただし、価値 4 に該当する場合は必須））

申請区域が有している生態系サービスについて、チェックを入れてください(複数選択可)						
区域が有している生態系サービス	☒ 供給サービス 食糧、水、木材、繊維、燃料 など	☐ 調整サービス 気候調整、水質保全、病虫害抑制、防災・減災 など	☒ 文化的サービス 精神的充足、美的楽しみ、レクリエーション、教育的効果 など			
						
生態系サービスの概況	【供給サービス】 ・ 棚田では米が生産され出荷されている。 ・ ニホンミツバチによる養蜂も行っており草地で栽培したソバの花から採蜜された蜂蜜と、サイト内の花々から採蜜された百花蜜を出荷している。 【文化的サービス】 ・ 自然体験や農業体験（動植物の観察会、田植え体験など）を提供している。観光客を対象として定期的に催行しているエコツアー、また市内小学校の社会科見学や周辺地域の方々のレクリエーションにおいて利用されている。					
脱炭素、環境負荷低減など関連する取組（あれば）						

4. 追加写真用シート（任意）


写真番号：17 写真の撮影年月：20XX年X月
写真の説明：申請区域内の二次林で見られる○○

サイト詳細シート ②サイトの状況等

6. 写真の撮影位置



7. サイトの追加情報（任意）

伝えたい情報などあれば、自由に記載ください。（最大 3 枚程度）

別紙3 記載例

増進活動実施計画（様式1-2）別紙1 サイト詳細シート

サイト詳細シート ③OECEM

＜ご回答の前に＞（必須）

実施区域と保護地域との重複状況についてご確認ください。

- ☐ 実施区域の全部が保護地域内に含まれる（サイト面積と保護地域との重複面積が等しい）
：国際データベース登録は行いませんので、以下1～5へのご回答は不要です。
- ☒ 以下のどれかに該当する
- ・実施区域は保護地域と重複しない、または保護地域との重複はあるが完全には含まれない
（保護地域との重複面積が0 ha、またはサイト面積＞保護地域との重複面積）
 - ・重複状況はわからない
- ：以下1～5にご回答ください。

【再掲】別紙1②にご記入いただいたサイト面積と保護地域との重複面積

サイト面積 保護地域との重複面積

5.4 ha

0 ha

1. サイト名称

国際データベースに掲載するサイト名をご記入ください。

※特に問題がなければ、別紙1②サイトの状況に記載したものと同一サイト名称をご記入ください。なお、基本的には、ご記入内容がそのまま国際データベースに掲載されますので、ご注意ください。

サイト名称【日本語】 ※最大80文字

自然共生の里

サイト名称【英語】 ※最大254文字

Village of harmony with nature

2. 活動責任者名（任意）

国際データベースに掲載する活動責任者名（団体名または個人名）をご記入ください。

※可能ならば英語でもご記入ください。

※国際データベースへの掲載を希望しない情報は、空欄のままでかまいません。

活動責任者名【日本語】 ※最大80文字

自然共生市

活動責任者名【英語】 ※最大254文字

Shizenkyousei city

3. 国際データベースに掲載する活動計画のページ（任意）

活動計画を掲載しているwebページのリンク（URLのみ）を1つだけご記入ください。

※英語のページが望ましいですが、日本語のページでも問題ございません。

※国際データベースへの掲載を希望しない場合や、該当するページが存在しない場合は、空欄のままでかまいません。

活動計画を掲載しているページURL ※最大254byte

<https://www.XX.jp>

4. 国際データベースに掲載する活動紹介のページ（任意）

活動を紹介するwebページのリンク（URLのみ）を1つだけご記入ください。

※英語のページが望ましいですが、日本語のページでも問題ございません。

※国際データベースへの掲載を希望しない場合や、該当するページが存在しない場合は、空欄のままでかまいません。

活動を紹介するページURL ※最大254byte

<https://www.XX.jp>

5. サイトの活動目的（任意）

サイトの活動目的について、以下のうちより当てはまるものをご選択ください。

活動目的について、国際データベースへの掲載を希望しない場合等はこちら

- ☐ I. 生物多様性保全を主目的とするもの
例) ナショナルトラスト、バードサンクチュアリ、ビオトープ
- ☐ II. 生物多様性保全を主目的としないもの
例) 企業の森、自然観察の森、里地里山、森林施業地、水源の森、社寺林、企業敷地内の緑地、屋敷林、緑道、都市内の緑地、風致保全の樹林、都市内の公園、研究機関の森林、遊水池、河川敷、水源涵養や炭素固定・吸収目的の森林
- ☒

別紙3 記載例

区域内の動植物リスト

※主に価値2、3、4の申請の添付資料として求められる種リスト（区域で確認された動植物種の情報が分かる資料）は様式自由ですが、典型的な記入を例示します。橙色の列（種名）は必須です。

記入例

添付資料X：申請区域内で確認された動植物種の一覧							
調査期間：2010年1月～2022年12月、調査団体：NPO法人 ○○○							
	種名	学名	確認年月	ライフステージ	調査手法	確認地点	備考
鳥類	ヤマガラ	<i>Sittiparus varius</i>	2022年10月	成鳥	ラインセンサス	二次林ゾーン（北東）	2020年、2021年にも確認。
	シジュウカラ	<i>Parus minor</i>	2022年5月	成鳥・幼鳥	ラインセンサス	二次林ゾーン（北東）	2010年以降毎年確認
	○○○○	××××	2022年3月	成鳥	ラインセンサス	二次林ゾーン（北東）	
	○○○○	××××	2022年8月	不明	ラインセンサス	自然林ゾーン	
	○○○○	××××	2022年6月	幼鳥	ラインセンサス	二次林ゾーン（北東）	目視
	○○○○	××××	2022年1月	成鳥	ラインセンサス	二次林ゾーン（北東）	目視
	○○○○	××××	2022年1月	不明	定点観察	棚田ゾーン	
	○○○○	××××	2022年時期不明	成鳥	定点観察	棚田ゾーン	
	○○○○	××××	2022年1月	成鳥	ラインセンサス	二次林ゾーン（棚田付近）	目視
両生類	トウキョウサンショウウオ	<i>Hynobius tokyoensis</i>	2022年4月	卵	定点観察	棚田ゾーン（水路）	
	○○○○	××××	2022年8月	成体	定点観察	棚田ゾーン（水路）	毎年確認
	○○○○	××××	2022年4月	幼体	定点観察	棚田ゾーン	
昆虫類	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	2022年8月	成虫	定点観察	棚田ゾーン	
	○○○○	××××	2022年8月	成虫	定点観察	棚田ゾーン	
植物	キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>	2022年4月	開花	ラインセンサス	二次林ゾーン（北西）	
	○○○○	××××	2022年4月	成木	ラインセンサス	自然林ゾーン	
	○○○○	××××	2022年8月	不明	ラインセンサス	自然林ゾーン	
	○○○○	××××	2022年8月	不明	定点観察	棚田ゾーン	
	○○○○	××××	2022年4月	稚樹	ラインセンサス	自然林ゾーン	同ゾーンにて多数確認。
	○○○○	××××	2022年8月	不明	定点観察	棚田ゾーン	

注：確認地点のゾーンの位置等の詳細については添付資料X「○○活動計画」を参照。

※価値6、7の申請の添付資料として求められる種リスト（価値6「区域で確認された希少な動植物種の情報が分かる資料」、価値7「区域で確認された特殊性のある動植物種の情報が分かる資料」）は様式自由ですが、典型的な記入を例示します。価値6では、橙色のセル（種名～確認地点）が必須です。価値7では、このうち「環境省レッドリストのカテゴリー」、「都道府県レッドリスト等のカテゴリー」以外が必須です。

記入例

添付資料X：申請区域内で確認された希少な動植物種の一覧									
調査期間：2010年1月～2022年12月、調査団体：NPO法人 ○○○									
	種名	学名	確認年月	環境省レッドリスト のカテゴリー	都道府県レッドリスト等 のカテゴリー	ライフステージ	調査手法	確認地点	備考
鳥類	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>	2022年1月		絶滅危惧Ⅰ類（VU）	成鳥	ラインセンサス	二次林ゾーン（棚田付近）	目視
	オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	2022年2月	準絶滅危惧（NT）	準絶滅危惧（NT）	成鳥	ラインセンサス	二次林ゾーン（北東）	2010年以降毎年確認
	○○○○	××××	2022年10月	絶滅危惧Ⅱ類（VU）	絶滅危惧Ⅱ類（VU）	成鳥	ラインセンサス	二次林ゾーン（北東）	2020年、2021年にも確認。
	○○○○	××××	2022年6月	準絶滅危惧（NT）	準絶滅危惧（NT2）	幼鳥	ラインセンサス	二次林ゾーン（北東）	
	○○○○	××××	2022年8月	準絶滅危惧（NT）	準絶滅危惧（NT）	不明	ラインセンサス	自然林ゾーン	
	○○○○	××××	2022年2月	絶滅危惧Ⅱ類（VU）	絶滅危惧Ⅱ類（VU）	成鳥	ラインセンサス	二次林ゾーン（北東）	目視
	○○○○	××××	2022年1月		準絶滅危惧（NT2）	成鳥	ラインセンサス	二次林ゾーン（北東）	目視
	○○○○	××××	2022年1月		準絶滅危惧（NT2）	成鳥	定点観察	棚田ゾーン	
	○○○○	××××	2022年時期不明		準絶滅危惧（NT2）	成鳥	定点観察	棚田ゾーン	
両生類	トウキョウサンショウウオ	<i>Hynobius tokyoensis</i>	2022年4月	絶滅危惧ⅠB類（EN）	絶滅危惧Ⅰ類（EN）	卵	定点観察	棚田ゾーン（水路）	
	○○○○	××××	2022年8月	絶滅危惧Ⅱ類（VU）	絶滅危惧Ⅱ類（VU）	成体	定点観察	棚田ゾーン（水路）	毎年確認
	○○○○	××××	2022年4月	絶滅危惧Ⅱ類（VU）	準絶滅危惧（NT）	幼体	定点観察	棚田ゾーン	
昆虫類	オオムラサキ	<i>Sasakia charonda charonda</i>	2022年6月	準絶滅危惧（NT）	準絶滅危惧（NT）	成虫	定点観察	二次林ゾーン（棚田付近）	
	○○○○	××××	2022年8月	準絶滅危惧（NT）	準絶滅危惧（NT）	成虫	定点観察	棚田ゾーン	
植物	キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>	2022年4月	絶滅危惧Ⅱ類（VU）		開花	ラインセンサス	二次林ゾーン（北西）	
	○○○○	××××	2022年8月	準絶滅危惧（NT）	準絶滅危惧（NT）	不明	ラインセンサス	自然林ゾーン	

注：環境省レッドリストのカテゴリーは「環境省レッドリスト2020」による（<https://www.env.go.jp/XXXXXXXX>）

注：都道府県レッドリスト等のカテゴリーは「○○県レッドデータブック2018動物」による（<https://www.XXXXXX>）

注：確認地点のゾーンの位置等の詳細については添付資料X「○○活動計画」を参照。